

絵本について学ぼう ～絵本ってどんな本?～

1年 家庭基礎
「保育」
資料の活用

ねらい

- 児童文化財のひとつである「絵本」とはどのようなものを理解する。
- 読み聞かせや絵本に触れてみることで、絵本の楽しさを体験する。

学 習 展 開

- ①「絵本」が児童文化財の一つであることを説明し、子どもにとっての絵本の役割について問う。
- ②「絵本」とはどのような本なのかを説明した後、タイプの違ういろいろな絵本を紹介する。
- ③読み聞かせをする際のポイントを説明し、読み聞かせの実演を行う。
- ④実際に絵本を手に取り、各自で読んだり、互いに読み聞かせたりしてみる。

- 読み聞かせ使用絵本
大型絵本『はじめてのおつかい』
(筒井頼子/作・福音館書店)
- 準備した絵本の種類
赤ちゃん絵本、科学絵本、おはなし絵本、生活絵本、ことば絵本、あそび絵本、行事絵本、写真絵本、しかけ絵本、大型絵本、点字絵本等

◆司書教諭と学校司書の関わり

- 学校司書は、教員とよく相談して必要な絵本を準備する。
- 学校司書は絵本や読み聞かせのポイントについて説明をした後、読み聞かせの実演をする。

★指導のポイント

- ◆ 絵本の絵を読み解きながら、絵本とはどういうものかを理解する。
- ◆ 様々な種類の絵本を紹介し、それぞれの特徴を理解させる。
- ◆ 絵本を読むことや、読んでもらうことの楽しさや心地よさを体感する。

資料

絵本

『じゃあじゃあびりびり』『うんちでるかな?』『さわるめいろ』『おしょうがつ』『まいにちのとけいのほん』『はらぺこあおむし』『わたし、クワガタ』等